



## S コマンド

---

この章では、S で始まる Cisco NX-OS Open Shortest Path First (OSPF) コマンドについて説明します。

# set forwarding-address

再配布されたタイプ 5 リンク ステート アドバタイズメント (LSA) に Open Shortest Path First (OSPF) 転送アドレスを設定するには、**set forwarding-address** コマンドを使用します。アドレスを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**set forwarding-address**

**no forwarding-address**

## 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

## コマンド デフォルト

転送アドレスはデフォルトとして設定されません。

## コマンド モード

ルート マップ コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、再配布されたタイプ 5 LSA に転送アドレスを設定する OSPF によって使用されます。自律システム境界ルータ (ASBR) で指定された転送アドレスの値は、0.0.0.0 またはゼロ以外のどちらかです。0.0.0.0 アドレスは、発信元ルータ (ASBR) がネクスト ホップであることを示します。

ASBR がルートを再配布し、これらのルートのネクスト ホップ インターフェイス上で OSPF がイネーブルでない場合、転送アドレスは 0.0.0.0 に設定されます。

転送アドレス フィールドをゼロ以外のアドレスに設定するには、次のすべての条件を満たす必要があります。

- OSPF が、ASBR のネクスト ホップ インターフェイスでイネーブルであること。
- ASBR のネクスト ホップ インターフェイスが、OSPF では非パッシブであること。
- ASBR のネクスト ホップ インターフェイスが、ポイントツーポイントではないこと。
- ASBR のネクスト ホップ インターフェイスが、ポイントツーマルチポイントではないこと。

その他のすべての条件では、転送アドレスを 0.0.0.0 に設定します。

## 例

次に、転送アドレスを設定する例を示します。

```
switch(config)# route-map test1 10 permit
switch(config-route-map)# set forwarding-address
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>match as-path</b>	BGP 自律システム パス アクセス リストを照合します。
<b>match community</b>	BGP コミュニティを照合します。

コマンド	説明
<b>match ip address</b>	標準または拡張アクセス リストが許可した宛先ネットワーク番号アドレスが含まれるルートを配布し、パケットでポリシー ルーティングを実行します。
<b>match ip next-hop</b>	指定されたアクセス リストのいずれかによって渡されたネクストホップ ルータ アドレスを含むすべてのルートを再配布します。
<b>match ip route-source</b>	アクセス リストによって指定されたアドレスで、ルータおよびアクセス サーバによってアドバタイズされたルートを再配布します。
<b>match metric</b>	指定したメトリックを持つルートを再配布します。
<b>match tag</b>	指定されたタグと一致するルーティング テーブルのルートを再配布します。
<b>route-map (IP)</b>	あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルへルートを再配布する条件を定義するか、ポリシー ルーティングをイネーブルにします。
<b>set as-path</b>	BGP ルートの自律システム パスを変更します。
<b>set community</b>	BGP コミュニティ属性を設定します。
<b>set level</b>	ルートのインポート先を示します。
<b>set local-preference</b>	自律システム パスのプリファレンス値を指定します。
<b>set metric</b>	ルーティング プロトコルのメトリック値を設定します。
<b>set metric-type</b>	宛先ルーティング プロトコルのメトリック タイプを設定します。
<b>set next-hop</b>	ネクスト ホップのアドレスを指定します。
<b>set tag</b>	宛先ルーティング プロトコルのタグ値を設定します。
<b>set weight</b>	ルーティング プロトコルの BGP 重みを指定します。

# shutdown (OSPF)

設定を削除することなく OSPF インスタンスを停止するには、**shutdown** コマンドを使用します。停止した OSPF インスタンスを開始するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**shutdown**

**no shutdown**

## 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

## コマンド デフォルト

プロセスは停止していません。

## コマンド モード

ルータ コンフィギュレーション モード  
VRF コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**shutdown** コマンドを入力すると、ルータ プロセスを停止しますが、設定パラメータは削除しません。イネーブルの場合、**shutdown** コマンドは実行コンフィギュレーション ファイルに表示されます。このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、アクティブ OSPF インスタンスを停止する例を示します。

```
switch(config)# router ospf firstcompany
switch(config-router)# shutdown
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>feature ospf</b>	ルータで OSPF をイネーブルにします。
<b>router ospf</b>	OSPF インスタンスを設定します。

# shutdown (OSPFv3)

設定を削除することなく OSPF (OSPFv3) インスタンスを停止するには、**shutdown** コマンドを使用します。停止した OSPF インスタンスを開始するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**shutdown**

**no shutdown**

## 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

## デフォルト

プロセスは停止していません。

## コマンドモード

ルータ コンフィギュレーション  
VRF コンフィギュレーション

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**shutdown** コマンドを入力すると、ルータ プロセスを停止しますが、設定パラメータは削除しません。イネーブルの場合、**shutdown** コマンドは実行コンフィギュレーション ファイルに表示されます。このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、アクティブ OSPFv3 インスタンスを停止する例を示します。

```
switch(config)# router ospfv3 firstcompany  
switch(config-router)# shutdown
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>feature ospfv3</b>	ルータで OSPFv3 をイネーブルにします。
<b>router ospfv3f</b>	OSPFv3 インスタンスを設定します。

# summary-address (OSPF)

OSPF プロトコルの集約アドレスを作成するには、**summary-address** コマンドを使用します。デフォルトに戻るには、**no** 形式のコマンドを使用します。

```
summary-address ip-prefix/length [not-advertise] [tag tag]
```

```
no summary-address ip-prefix/length [not-advertise] [tag tag]
```

## 構文の説明

<i>ip-prefix/length</i>	アドレス範囲に指定された IP プレフィックス (プレフィックス長を含む)。 <i>ip-prefix</i> に IP アドレスを指定します。 <i>length</i> に 1 ~ 31 の数を指定します。
<b>not-advertise</b>	(任意) 指定の <i>prefix/length</i> のペアと一致するルートを抑制します。
<b>tag tag</b>	(任意) ルート マップを使用して再配布を制御する <i>match</i> 値として使用できるタグ値を指定します。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

ルータ コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

集約アドレスを作成して特定のアドレス シリーズを交換するには、**summary-address** コマンドを使用します。サマリーのアドバタイズに使用されるメトリックは、具体的なルートすべての中で最小のメトリックです。

このコマンドを使用すると、ルーティング テーブルのサイズを小さくします。OSPF Autonomous System Boundary Router (ASBR; 自律システム境界ルータ) は、アドレスがカバーする再配布ルートすべての集約として 1 つの外部ルートをアドバタイズできます。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、アドレス 192.0.1.0、192.0.2.0、192.0.3.0 などを含めるようサマリー アドレス 192.0.0.0 を設定する例を示します。アドレス 192.0.0.0 のみが外部 Link-State Advertisement (LSA; リンクステート アドバタイズメント) でアドバタイズされます。

```
switch(config)# router ospf 201
switch(config-router)# summary-address 192.0.0.0/16
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>copy running-config startup-config</b>	コンフィギュレーションの変更をスタートアップ コンフィギュレーション ファイルに保存します。

コマンド	説明
<b>redistribute (OSPF)</b>	外部ルーティング プロトコル ルートを OSPF に再配布します。
<b>show ip ospf summary-address</b>	OSPF サマリー アドレス再配布情報を表示します。

# summary-address (OSPFv3)

OSPF バージョン 3 (OSPFv3) プロトコルの集約アドレスを作成するには、**summary-address** コマンドを使用します。デフォルトに戻るには、**no** 形式のコマンドを使用します。

```
summary-address ipv6-prefix/length [not-advertise] [tag tag]
```

```
no summary-address ipv6-prefix/length [not-advertise] [tag tag]
```

## 構文の説明

<i>ipv6-prefix/length</i>	アドレス範囲に指定された IP プレフィックス (プレフィックス長を含む)。 <i>ip-prefix</i> を IPv6 アドレスとして指定します。 <i>length</i> を 1 ~ 128 の数値として指定します。
<b>not-advertise</b>	(任意) 指定の <i>prefix/length</i> のペアと一致するルートを抑制します。
<b>tag tag</b>	(任意) ルート マップを使用して再配布を制御する <i>match</i> 値として使用できるタグ値を指定します。有効な範囲は 1 ~ 65535 です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

アドレスファミリ コンフィギュレーション

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)N1(1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

集約アドレスを作成して特定のアドレス シリーズを交換するには、**summary-address** コマンドを使用します。サマリーのアドバタイズに使用されるメトリックは、具体的なルートすべての中で最小のメトリックです。

このコマンドを使用すると、ルーティング テーブルのサイズを小さくします。OSPFv3 Autonomous System Boundary Router (ASBR; 自律システム境界ルータ) は、アドレスがカバーする再配布ルートすべての集約として 1 つの外部ルートをアドバタイズできます。

このコマンドには、Enterprise Services ライセンスが必要です。

## 例

次に、アドレス 192.0.1.0、192.0.2.0、192.0.3.0 などを含めるようサマリー アドレス 192.0.0.0 を設定する例を示します。アドレス 192.0.0.0 のみが外部 Link-State Advertisement (LSA; リンクステートアドバタイズメント) でアドバタイズされます。

```
switch(config)# router ospfv3 201
switch(config-router)# address-family ipv6 unicast
switch(config-router)# summary-address 2001:0DB8::0/16
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>redistribute (OSPFv3)</b>	外部ルーティング プロトコル ルートを OSPFv3 に再配布します。